

Weekly Report

ROTARY CLUB OF MOKA

2025~2026年度 国際ロータリー第2550地区 真岡ロータリークラブ



よいことのために手を取りあおう

真岡ロータリークラブ 柳田尚宏 会長メッセージ「原点回帰！」

■本日のプログラム 炉辺会合報告

■司会	SAA 安田 政昭君
■点鐘	会長 柳田 尚宏君
■ロータリーソング	我らの生業
■ゲスト	下野上三川 RC SAA 高山 功様

■会長挨拶 会長 柳田 尚宏

皆さん、こんにちは。
本日のお客様をご紹介いたします。本日のお客様は、下野上三川ロータリークラブのSAA、高山功様です。ようこそお越しくださいました。



月初の例会で言い忘れたことがあります、今月は「ロータリー財団月間」です。皆さんご存知の通り、ロータリー財団は世界中のロータリアンの寄付によって支えられ、平和の推進、疾病の撲滅、教育の支援など、数えきれないほどの善意を形にしてきました。私たちのクラブもポリオ根絶運動への寄付や奨学金支援を通じて、財団の理念を身近に感じていること思います。一人ひとりの寄付や行動が、世界の誰かの未来を変える力となる、これがロータリーの素晴らしいと感じています。この月間を契機に、改めてロータリー財団の意義を理解し、支援の輪を広げてまいりましょう。

今日は、炉辺会合の報告があります。議題は真岡ロータリークラブの行動目標に関するもので、大きなインパクトをもたらす参加者の輪についてです。少し抽象的な課題だったかもしれません、会員の皆さんがそれぞれの意見を出し合っていただけたことと思います。

各座長は、それぞれの意見を取りまとめて発表していただくことになりますので、大変だったと思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。本日も例会を楽しんでください。簡単ではありますが、会長の挨拶とさせていただきます。

■お客様ご挨拶 下野上三川 RC SAA 高山 功様

皆さん、こんにちは。今日は炉辺会合の報告があるということで、非常に重要な例会となります。少しお時間をいただき、先日行った 30 周年記念行事のご協力に対するお礼を申し上げます。記念誌の作成に手間取ったため、遅れてしまったことをお詫びいたします。

私たちのクラブは 24 名と、第 4 グループでは最も小さなクラブですが、結果として会員の心に残るイベントができたと思っています。24 名中、20 周年を経験した会員は約 1/3 しかいないため、第 4 グループの皆さんに多くの助言をいただき、何とか成功に導けたことに感謝



MAKE UP 会場案内

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
宇都宮 90 : 東武ホテルグランデ 小山中央 : 思水荘 真岡西 : フォーシーズンズ静風	宇都宮 : 東武ホテルグランデ 宇都宮東 : ホテルニューアイタヤ 小山南 : 小山グランドホテル	益子 : 益子カントリー 下野上三川 : 石橋商工会館 小山北 : 和風ダイニング彩華	宇都宮西 : 東武ホテルグランデ 宇都宮北 : ベルビィ宇都宮 小山 : 小山グランドホテル	小山東 : 小山グランドホテル

会長:柳田 尚宏 幹事:坂本 光 会報委員:平石典嗣 中島弘司 市村滋朗 相場一宏

事務局:〒321-4305 栃木県真岡市荒町 1203(真岡商工会館内)TEL.0285-84-2511 FAX.0285-84-2510

URL:<http://rc-moka.jp/> E-mail:rc-moka@sweet.ocn.ne.jp

2025.11.13

No. 3151

ID13862 真岡

Rotary



しています。

例会が 3151 回を迎える真岡 RC に対し、私たちは 1300 回台で、20 年程の歴史の差があります。先輩クラブの築いてきた歴史を踏まえ、私たちも少ないながら力を合わせ、ワンチームとして頑張っていきたいと思います。今後ともご指導のほど、よろしくお願ひいたします。本日はありがとうございました。

■本日のスマイルボックス

高山 功様

本日はお世話になります。

柳田 尚宏君

本日は下野上三川 RC、SAA
高山様ようこそいらっしゃいました。また、炉辺会合座長発表よろしくお願ひいたします。

渡邊 佳寛君

下野上三川 RC 高山様、ご来訪誠にありがとうございます。
炉辺報告、座長の方々宜しくお願ひ致します。

柳 浩雄君

炉辺会 A グループ残金です。

横松 和美君

台湾公式訪問、参加された方
ご苦労様でした。訪問中にたくさんお酒を頂きました。

阿久津 亮君

炉辺会 D グループお疲れ様
でした。炉辺会残金です。

沼田 雄一君

青木会員、昨日は chatGPT
の勉強会ありがとうございました。お昼までご馳走になり、感激しました。実務に生かせるよう AI を活用していくこうと思いま
す感謝。

成瀬 美奈子君

昨日の AI 講習会に参加させて頂き青木会員に感謝してい
ます。お弁当もありがとうございました。

・奉仕プロジェクトの質を高め、地域社会や世界に持続的な成果をもたらす。

・ポリオ根絶をはじめとする重点分野(教育・水・平和・環境など)に力を入れる。

2. 「参加者の基盤を広げる」

- ・新しい会員を増やし、多様性(年齢・性別・職業・文化)を尊重する。
- ・新しい形のクラブを推進する。
- ・地域社会にロータリーの存在と価値を広める。

3. 「参加者の積極的な関与を高める」

- ・会員同士のつながりを深め、友情と学びを育てる。
- ・若手会員や次世代リーダーを育てる。
- ・参加しやすく、やりがいのあるクラブ運営を行う。

4. 「適応力を高める」

- ・変化する社会に柔軟に対応できる組織文化をつくる。
- ・デジタル・オンラインの活用を進める。
- ・ロータリーの伝統を尊重しながら、未来志向で改善を図る。

■B グループ 小金 幹典君

A さんは行動目標を行動原則に基づくべきとの意見を示し、「①意思決定」「②推進」「③発言」「④共感」という 4 つのキーワードを挙げました。これは「決断→行動→発言→共感」を表し、個人から仲間との共感形成までのプロセスを示しています。

B さんはロータリークラブの基本的行動として「親睦」「奉仕」「多様性」「高潔」「リーダーシップ」の 5 つを挙げ、これが国際ロータリーの「Core Values」に対応していることを説明しました。会長は、親睦は信頼を深め、奉仕が地域貢献、多様性が異なる背景との協力、高潔は公平に行動し、リーダーシップは良い影響を与えると述べました。

C さんは宇都宮 90RC での炉辺会合の経験を共有し、真岡 RC の地域密着の奉仕活動を称賛しました。B さんは「お金より行動重視」とし、中学校での職業出前講座の例を挙げました。D さんは人事の変化による方向性のぶれを指摘し、中期計画導入を提案しました。

E さんは「目に見える奉仕活動を増やすべき」とし、具体例としてゴミ拾いを提案しました。F さんは柳田会長のもとの活動評価や初の女性会員入会の意義を語りました。A さんはインスタグラムでの情報発信の重要性を述べ、他の SNS との連携を提案しました。

広報活動では特別委員会設置や副委員長制導入が話し

■炉辺会合報告

「真岡 RC の行動目標 大きなインパクトをもたらす参加者の輪」をテーマに 5 つのグループで会合が行われました。

■A グループ 柳 浩雄君

議論の末、以下の 4 点についてまとめました。

1. 「より大きな影響を与える」

合われ、DさんはPR専門家への委託や「こども食堂」支援活動を提案しました。

最後にAさんから、コミュニティスクールとの連携や真岡工業高校、真岡東中学校との取り組みが進んでいることが共有されました。

今回の会合では「地域活動の継続」「情報発信強化」「行動指針と中期計画整備」「単年度制改善」「地域・学校連携強化」など具体的な目標が提案され、今後のクラブ活動への反映を考えていきます。

■Cグループ 横松 和美君

私たち参加者は、「大きなインパクトのある行動を起こし、賛同者を増やしていく」という議題において、理解を深めました。そのためには、まず私自身がインパクトのある行動を取る前に、新たな会員の入会理由をお伺いしました。地域の方々は、ロータリーの活動についてほとんど情報を持っておらず、入会は先輩や知人のご紹介が主な理由であることがわかりました。多くの方は、昼食の機会がある程度の認識でした。

このため、真岡ロータリークラブが世の中に与えるべきインパクトについて再考する必要があります。以下にいくつかの意見を述べます。

1. ホームページの更新が遅れしており、SNSやTikTokの活用が望れます。
2. 他のクラブのホームページが魅力的で、看板設置を検討することが重要です。
3. ポリオ撲滅の趣旨を真岡市民に広めなければなりません。
4. 長年の事業成果をしっかりと伝え、「継続は力なり」を実感してもらうことが重要です。

意見交換が活発に行える委員会を設立し、議論を重ねることで一般の関心が高まり、参加者の輪が広がることでしょう。

■Dグループ 阿久津 亮君

開会に際し、会長よりご挨拶を賜り、本年度のクラブ方針や積極的な社会事業への参加、継続事業の充実、例会の充実、さらには会員の増強についてお話をいただきました。これを踏まえ、炉辺会合のテーマ「真岡RCの行動目標—大きなインパクトをもたらす参加者の輪」について議論を行いました。

社会事業の参加に関しては、最近開催された老人・障害者スポーツ大会における参加者の笑顔が素晴らしい、こうした事業を継承し、外部へ積極的に発信する必要性が強調されました。また、青少年向けのサッカー大会やバレー大会へのボランティア参加が重要であり、オープン例会を開催して中高大学生の参加を促すことや、メディアを通じた発信の重要性も提案されました。

会員増強についても議論が行われ、魅力的なロータリークラブにすることが基本であり、例会の質向上が不可欠との認識が共有されました。他団体との関係強化や、若年層向けの会費の見直し、女性会員の勧誘の重要性も挙げられました。さらに、会員増強に関しては常に意識し、楽しさを感じられるような親睦活動の充実が求めされました。

今年度初の炉辺会合には多くの若い会員が参加し、様々な角度から貴重な意見が寄せられ、ロータリーへの熱い思いを強く感じました。



■Eグループ 中川 宏行君

AIに「大きなインパクトとは何か」を問い合わせました。ロータリーの理念である「奉仕を通じて世界を変える」ためには、個人の力には限界があります。しかし、参加者が結束し共鳴し合うことで、地域社会や世界に波紋のような影響を生み出すことができます。この「輪」はロータリーの象徴であり、つながりや平等、継続を表現しています。互いに結ばれた会員たちが初めて真の「輪」を形成し、これは単なる

交流ではなく、共に考え、協働する姿勢の象徴です。

1. 従来の一方的な奉仕から、会員が共に楽しむ参加型への転換を提案します。
2. 学校や地域と連携し、実際に顔を出して関わる事業を展開したいです。
3. 高校生と共に何ができるか、例えば生徒にSNS発信の方法を学びつつ、ロータリー活動を知つてもらうことです。
4. 意外にも多くの人にロータリーの活動が知られていません。例えば、老人ホームを訪問し、入居者と会話を楽しむことを提案します。
5. 地域の清掃活動(ごみ拾い、草刈りなど)の実施を希望します。目立つ場所での活動が望ましいです。
6. 真岡クラブは地区とのつながりが薄いため、より積極的に地区活動に参加することを勧めます。
7. 地区幹事を経験した PC が「真岡クラブの活動は地区内で有意義である」と意見を述べました。見えない活動にも意義があることを忘れてはなりません。
8. 最後に、会長がやりたいことを優先することも一つの意見として挙がりました。

以上が E グループの報告です。ありがとうございました。

■スマイルボックス(10月23日現在)

前回までのスマイル繰越金	316,000
会員	16,000
ビジター	2,000
本日のスマイル合計	18,000
スマイル今期累計	352,000
前回までの米山繰越金	12,836
本日の米山	0
米山今期累計	12,836

■次回プログラム

11月20日(木)12時30分より「真岡商工会議所」にて真岡赤十字病院 名誉院長 安田是和様による外部卓話です。また、例会終了後にクラブ協議会を実施。理事、役員、委員長出席。

■月間予定出席者

在籍 47名		出席免除者 1名 (有資格者 1名 + 有理由者 1名)					
例会日	出席義務	事前 MU	事後 MU	出席者	内免除者	欠席者	出席率(%)
補正後 月 日							
本日 9月 18日	46	10		4		9	91.3

■月間出席率 (%) ※例会欠席は前日15時までに必ず事務局までお知らせください。(TEL.0285-84-2511, FAX.84-2510)

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
80.68	73.49	65.43	70.59	87.0							